



エコ・ファーストの約束 (更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成 29 年 10 月 31 日

環境大臣 中川 雅治 殿

株式会社タケエイ
代表取締役社長 山口 仁司

「総合環境企業」を目指すタケエイグループは、企業と社会がともに持続的成長が可能な未来を実現すべく、以下の取り組みを進めてまいります。

1 資源循環型社会の実現に貢献します。

- タケエイグループは事業領域と事業地域を拡大することで、廃棄物の処理に関するお客さまのさまざまな課題について、ソリューションサービスを提供していきます。
- 2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向け、「建設廃棄物処理・リサイクル事業」の対応力強化に努めます。特に、東京・神奈川・千葉における3つのリサイクルセンターを有機的かつ一体的に運用することで、都市の再構築で排出が見込まれる大量の建設廃棄物の域内処理およびリサイクルに貢献してまいります。
- グループ全体で廃棄物の資源循環的利用を推進することで、循環型社会の促進に貢献します。特に廃棄物発電を行っている施設およびセメントメーカー等へ、発電燃料やセメント原燃料等となる廃棄物を供給します。供給量について2022年までに2015年比30%増を目指します。

2 低炭素社会の実現に貢献します。

- 現在タケエイグループで取り組んでいる再生可能エネルギー事業を今後さらに強化・拡大することで、温室効果ガスである二酸化炭素の排出抑制とエネルギー自給率の向上に寄与します。
- 再生可能エネルギー発電量について、2025年までに2015年比5倍増を目指すことで、低炭素社会の実現に貢献してまいります。
- 廃棄物を収集運搬する車両や工場で使用する重機を導入する際には、低燃費・低公害型の車両・重機を選定する取り組みを継続してまいります。また乗務員へのエコドライブの教育を徹底し、環境に優しい運転を継続して実施してまいります。

3 地域や社会に根ざした環境活動を推進します。

- 地元行政や林業従事者などと連携し、地元で生産されたエネルギー資源を地元内で活用する「電気の地産地消」スキームに基づくバイオマス発電事業を、2025年までに4ヶ所で実施します。
- 里山づくり活動や清掃活動など、地域住民や地元行政と連携・協働して環境活動を推進します。
- タケエイグループの取り組みを、地域住民をはじめとするステークホルダーの皆さまに広く知っていただくため、工場見学を定期的に行います。また、子どもたちがゴミの分別の知識を学ぶことができる環境学習の場を提供します。

タケエイグループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

